



LGWAN

Local Government Wide Area Network

総合行政ネットワーク

No.
161

➤ 特集 総合行政ネットワーク (LGWAN) に係る FAQ (よくある質問とその回答)

今回は、総合行政ネットワーク（以下「LGWAN」という。）の運営に関して、LGWANに接続している地方公共団体等（以下「接続団体」という。）から寄せられた「よくある質問とその回答」を紹介します。これらは、LGWANポータルサイトのFAQ「LGWANに関する質疑応答集（ドキュメントライブラリ、文書番号F-1-1-10）」でも検索できますのでご利用ください。

1 接続団体の手続きについて

質 問	回 答
一部事務組合及び広域連合がLGWANに接続するために必要な手続きについて	LGWANに接続できるのは、すべての地方公共団体（LGWANへの接続を希望しない地方公共団体の組合及び財産区を除く。）、LGWANの運営主体である当機構（以下「LGWAN運営主体」という。）の理事長が承認した組織及びLGWAN-ASP接続審査を受けたLGWAN-ASPホスティングサービス提供者です。 一部の広域連合や一部事務組合（以下「一部事務組合等」という。）の接続も増加していますが、LGWANへの接続を希望する場合は、次の手続きが必要となります。 手続きの流れ 1 LGWANに接続を希望する一部事務組合等は、取りまとめ窓口である都道府県から総合行政ネットワーク基本規程や総合行政ネットワーク接続約款、総合行政ネットワーク接続申込書など、必要な各種規程類を入手します。 2 一部事務組合等は、各種規程類の内容を確認・同意の上、団体内の環境について、LGWAN接続ルータを設置するためのファシリティ条件及び庁内LANとLGWAN接続ルータを接続するためのセキュリティ条件を満たすように整備します。また、総合行政ネットワーク接続申込書など所定の様式に必要な事項を記入した書類を、都道府県に提出します。 3 都道府県は、提出書類の内容に記入漏れや不備がないことを確認し、LGWAN運営主体に送付します。LGWAN運営主体は、その内容がLGWANの接続に関する各種規程類に抵触していないことを確認の上、接続申込みを受理し、その旨を都道府県を通じて一部事務組合等に通知します。
人事異動によりLGWAN責任者、運用担当者（正・副）が変更となった場合や、システム構成などの変更があった場合の手続きについて	LGWAN基本アプリケーション・サービスとして提供されている「総合行政ネットワーク変更届出（以下「LGWAN変更届出^{※1}」という。）」により届け出ます。 届出には、LGWAN接続開始時に通知したローカル認証用のユーザID、パ

※1 <http://www.lgwan.jp/> (lgwan.jp ドメイン名のサイトの閲覧には、LGWAN接続環境が必要です。以下同様。)

質 問	回 答
	スワードを利用してください。 ユーザID、パスワードが不明な場合は、次の担当で受けつけています。 地方公共団体情報システム機構LGWAN全国センター 運営管理担当 【連絡先】LGWANポータルサイト内「問合せ・郵便物送付先」「総合行政ネットワーク変更届出に必要なローカル認証用ユーザID及びパスワードの再発行に関するお問合せ」（http://center.lgwan.jp/inquiry/index.html）を参照してください。
LGWANアクセス回線の速度変更を検討しているが、その手続きについて	LGWANアクセス回線の品目変更は行わず、速度変更（契約帯域の変更）のみを行う場合の手続きについて説明します。 1 LGWAN接続ルータの設定変更の有無を確認 LGWANアクセス回線の速度変更を行う場合、LGWAN接続ルータに接続する回線終端装置等の設定変更や交換が発生する場合があります。この場合、LGWAN接続ルータと回線終端装置等の間のインターフェースの通信モードが変更となる可能性があるため、回線事業者に戻線終端装置等の設定を確認するとともに、LGWAN接続ルータの設定変更の有無についてもあらかじめ確認します。 2 LGWAN変更届出の提出 接続団体は、回線の速度変更を行う20日前までにLGWAN変更届出により変更事項をLGWAN運営主体に提出します。変更事項は「③アクセス回線の種類、品目及び回線速度」を選択し、変更後の回線速度を入力します。LGWAN接続ルータの設定変更が必要な場合は、該当する項目の設定値を入力します。 3 計画停止申請 LGWANアクセス回線の速度変更作業により、LGWANとの通信が停止する場合は、あらかじめ計画停止申請を行います^{※2}。 4 回線速度変更作業 回線速度変更作業当日は、事前業務確認を行った上で、回線速度変更作業を実施します。LGWAN接続ルータの設定変更が必要な場合は、LGWAN変更届出に記載された情報に基づき、LGWAN運営主体が遠隔操作によって行います^{※3}。作業終了後は、疎通試験及び各種利用システムの動作試験を行い、通信に問題がないことを確認します^{※4}。
LGWANアクセス回線の品目変更を検討しているが、その手続きについて	LGWANアクセス回線の品目変更等に伴い、回線切替えを行う場合の手続きについて説明します。手続き方法は、都道府県WAN利用かその他の回線利用かによって異なります。 1 都道府県WAN利用の場合 ア 都道府県WAN運営主体との調整 都道府県WAN利用の場合、回線の変更箇所は、都道府県WANのアクセスポイントまでのネットワーク回線になります。回線切替えにより都道府

※2 計画停止申請の方法は「F-1-1-4 総合行政ネットワーク利用ガイドライン」15ページを参照してください。
<http://center.lgwan.jp/library/second3.html#F-1-1-4>

※3 作業内容によりLGWAN接続ルータ保守事業者の対応が必要となる場合がありますので、事前に保守事業者を確認してください。

※4 疎通試験・動作試験の結果、通信に問題があることを確認した場合は、LGWANネットワーク基盤サービス窓口に連絡してください。連絡先は「F-1-1-4 総合行政ネットワーク利用ガイドライン」15ページを参照してください。
<http://center.lgwan.jp/library/second3.html#F-1-1-4>

質 問	回 答
	県 WAN のアクセスポイントや LGWAN 接続ルータと回線終端装置等の間の通信モード等が変更となる場合があるため、事前に都道府県 WAN の運営主体と調整を行います。 なお、都道府県 WAN の利用を停止し、その他の回線に切り替える場合の手続きは、「2 その他の回線利用の場合」を確認してください。 イ LGWAN 変更届出の提出 接続団体は、回線切替えの20日前までに LGWAN 変更届出により回線切替えに伴う変更事項を LGWAN 運営主体に提出します。変更事項は、「③ アクセス回線の種類、品目及び回線速度」を選択し、変更後のサービス名を入力します。LGWAN 接続ルータの設定変更が必要な場合は、該当する項目の設定値を入力します。 ウ 計画停止申請 LGWAN アクセス回線の切替え作業により、LGWAN との通信が停止する場合は、あらかじめ計画停止申請を行います^{※2}。 エ 回線の切替え作業 回線の切替え作業当日は事前に業務確認を行った上で、回線の切替え作業を実施します。LGWAN 接続ルータの設定変更が必要な場合は、LGWAN 変更届出に記載された情報に基づき、LGWAN 運営主体が遠隔操作により行います。作業終了後は、疎通試験及び各種利用システムの動作試験を行い、通信に問題がないことを確認します^{※4}。 2 その他の回線利用の場合 ア 都道府県及び LGWAN 運営主体との調整 切替え先の回線サービスが都道府県ノードに接続されていない場合は、新たに導入作業を行います。このため、都道府県ノードへの接続の有無を都道府県に確認し、未接続の場合は、接続団体、都道府県及び LGWAN 運営主体の三者で回線サービス接続に係る要件を確認・協議します。 以後の手続は、「1 都道府県 WAN 利用の場合」のイ以降と同様です。
基本アプリケーションサービス内の申請手続きで、ログイン用データを使ってログインする際に「このページは表示できません」のエラーが発生する場合の対処について	該当のエラーは様々な原因で発生します。次の点を確認してください。 1 使用している PC で IC カードが登録されていない 次の手順書を参照し、IC カードを登録してください。 手順書：ログイン用データの発行作業手順 (http://center.lgwan.jp/information/third2_3.html) 58ページ「証明書ストアへの登録」 2 IC カード登録を行っても改善しない 次の手順書を参照し、ブラウザの設定を見直してください。 手順書：ログイン用データの発行作業手順 (http://center.lgwan.jp/information/third2_3.html) 42ページ「新証明書発行のための事前準備」
Windows XP 及び Internet Explorer 8 等サポート期限の切れた製品の使用について	Microsoft 社に限らず、サポート期間が終了している OS 等は、LGWAN 接続仕様書のセキュリティ要件に抵触しますので使用しないでください。総務省の通知（総行第32号 http://www.soumu.go.jp/main_content/000284896.pdf）も参照してください。

2 LGWAN-ASPについて

質 問	回 答
コンビニ交付サービスの導入を検討する際に参考になる資料について	コンビニ交付サービスは、住民基本台帳カード又は平成28年1月から交付が開始された個人番号カードを利用して住民票の写し、印鑑登録証明書等をコンビニエンスストアの店舗等において取得することができるもので、住民サービスの向上、窓口業務の効率化やコスト削減を実現するものとして、利用する団体が増えているサービスです。 自団体内に証明発行サーバを設置する場合、LGWAN-ASPホスティングサービス接続申込みが必要となります。LGWAN-ASPに関する手続きについては、LGWANポータルサイト内に掲載していますので、参照してください。 http://center.lgwan.jp/convenience/index.html LGWAN-ASPに関する問合せは、次の担当で受け付けています。 地方公共団体情報システム機構 LGWAN全国センター LGWAN-ASP担当 【連絡先】 LGWANポータルサイト内「問合せ・郵便物送付先」「総合行政ネットワークASPに関するお問合せ」(http://center.lgwan.jp/inquiry/index.html)を参照してください。 なお、コンビニ交付に関する問合せは、次の部署で受け付けています。 地方公共団体情報システム機構 研究開発部

3 LGPKIについて

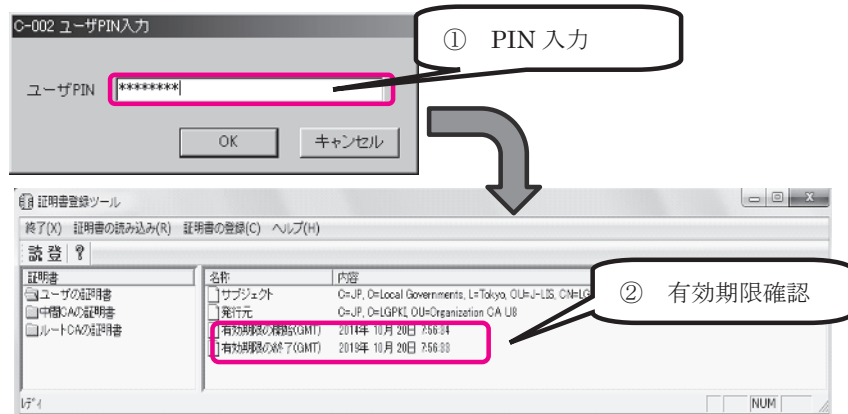
質 問	回 答											
ログイン用データや証明書類の発行を行うために必要なものについて	ログイン用データや証明書の発行を行うにあたり、登録分局の整備が必須となります。その後、利用環境を整備する必要がありますが、必要なものは次のとおりです。 ・調達が必要なもの <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">三菱電機社製ICカードを利用する場合</td><td>認証基盤用（LGWAN用）ICカード</td></tr> <tr> <td>認証基盤用（LGWAN用）ICカードドライバソフトウェア媒体セット</td></tr> <tr> <td>認証基盤用（LGWAN用）LGWAN用ICカードフォーマッタ</td></tr> <tr> <td>認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置</td></tr> <tr> <td>認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置ドライバソフトウェア媒体セット</td></tr> <tr> <td>ペンティオ社製USBトークンを利用する場合</td><td>認証基盤用（LGWAN用）USBトークン</td></tr> <tr> <td rowspan="2">ペンティオ社製ICカードを利用する場合</td><td>認証基盤用（LGWAN用）ICカード</td></tr> <tr> <td>認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置</td></tr> </table> ※上記製品は、すべて新暗号対応版を調達する必要があります。新暗号に対応する製品等の情報については、LGWANポータルサイトに掲載しています。 http://center.lgwan.jp/information/second2.html	三菱電機社製ICカードを利用する場合	認証基盤用（LGWAN用）ICカード	認証基盤用（LGWAN用）ICカードドライバソフトウェア媒体セット	認証基盤用（LGWAN用）LGWAN用ICカードフォーマッタ	認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置	認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置ドライバソフトウェア媒体セット	ペンティオ社製USBトークンを利用する場合	認証基盤用（LGWAN用）USBトークン	ペンティオ社製ICカードを利用する場合	認証基盤用（LGWAN用）ICカード	認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置
三菱電機社製ICカードを利用する場合	認証基盤用（LGWAN用）ICカード											
	認証基盤用（LGWAN用）ICカードドライバソフトウェア媒体セット											
	認証基盤用（LGWAN用）LGWAN用ICカードフォーマッタ											
	認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置											
	認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置ドライバソフトウェア媒体セット											
ペンティオ社製USBトークンを利用する場合	認証基盤用（LGWAN用）USBトークン											
ペンティオ社製ICカードを利用する場合	認証基盤用（LGWAN用）ICカード											
	認証基盤用（LGWAN用）ICカード読取装置											

質 問	回 答
	・ LGMAN ポータルサイトからダウンロードできるもの 証明書発行支援標準システム（新暗号対応版） http://center.lgwan.jp/library/second9.html#K-3-3 からダウンロードしてください。 ※ログイン用データや証明書として使用中のICカードを、誤って初期化しないように注意してください。
登録分局責任者など、登録分局の情報に変更があった場合に必要な手続きについて	登録分局の情報に変更が生じた場合は、次のいずれかの方法により変更手続きを行う必要があります。 1 ログイン用データが利用可能な場合 「証明書発行等申請管理システム（CIRS）」の登録分局情報更新機能を使用し、オンラインによる変更手続きを行います。 2 ログイン用データが利用できない場合や登録分局責任者印を変更する場合 「登録分局要員登録・変更申請書」を提出し、書面による変更手続きを行います。なお、書面により変更を実施する際は、必ず事前に LGMAN 全国センターへ FAX 等により申請書記載内容の確認依頼を行い、確認終了後に配達証明付一般書留郵便で、次の宛先まで郵送してください。 【宛先】〒102-8419 東京都千代田区一番町25番地 地方公共団体情報システム機構 LGMAN 全国センター LGMAN-PKI 受付担当
登録分局自己点検について	登録分局自己点検とは、LGMAN 運営主体が登録分局に対して行う監査の一環として実施するもので、登録分局を設置しているすべての接続団体が実施する必要があります。 LGMAN 運営主体から委任された業務について、接続団体自ら点検を行い、LGMAN 運営主体に対して報告を行います。報告の方法については、例年4月に LGMAN 運営主体から依頼しますので、依頼文に記載された実施方法に従って行ってください。なお、LGMAN 基本アプリケーション・サービスの登録分局自己点検システムから報告する方法が基本となります。
旧 暗 号 アル ゴ リ ズ ム (SHA-1、RSA1024) で発行された証明書の利用について	暗号アルゴリズム移行前に発行した旧暗号対応のログイン用データ、職責証明書及び利用者証明書については、証明書利用者の移行期間として、暗号アルゴリズム移行後一定期間（最長で平成29年度早期までを予定）は、継続して利用することができます。 なお、アプリケーション認証局（第二世代）から発行した旧暗号対応の Web サーバ証明書、コードサイニング証明書及びメール用証明書の有効期限は、アプリケーション認証局（第二世代）を廃止する平成28年3月31日となりますので、有効期限までの間に新暗号対応の証明書を発行するなど、必要な対応を行ってください。
首長名義職責証明書の組織登録について	首長など組織情報のない名義の職責証明書又は利用者証明書を発行する場合は、組織情報の登録は不要です。
保有している各種カードの有効期限の確認方法について	1 三菱電機社製ICカードを利用する場合 - ア ICカード読取装置にICカードを挿入し、「Windows スタートメニュー」→「プログラム」→「LGMAN IC」→「ICカード登録」を起動します。 - イ 挿入したカードのPIN番号を入力します。 - ウ 「読」ボタンを押し、「ユーザの証明書」をクリックします。 - エ 有効期限が表示されます。

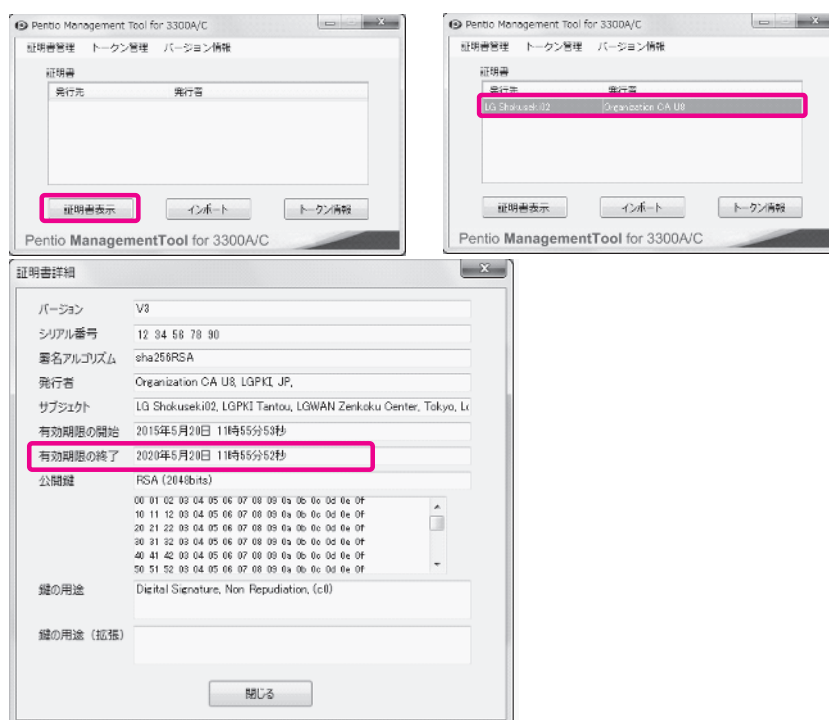
質 問

回 答

また、サブジェクトのうち、CNの内容で名義が確認でき、OUの内容で組織情報が確認できます。



- 2 ペンティオ社製USBトークン・ペンティオ社製ICカードを利用する場合
 - ア 「Windows スタートメニュー」→「プログラム」→「Pentio Management Tool」を起動します。
 - イ ICカード読取装置にICカードを挿入、又はUSBトークンをPCに接続し、「証明書表示」ボタンを押します。
 - ウ ICカード（USBトークン）に格納されている証明書が表示されたら、ダブルクリックすると、有効期間が表示されます。



質 問	回 答
庁内の機器更改によりLGWANで利用していた端末を新しい端末に変更した場合に必要な作業について	「ICカードを使用する場合に必要なシステム環境の確認」「ICカードの適合性の確認」「LGWAN基本アプリケーション・サービスの動作環境の確認」「共通認証サービスの設定確認」「自己署名証明書等の事前準備」等の作業があります。詳細については、LGWANポータルサイト(http://center.lgwan.jp/information/third2_3.html)に掲載している「ログイン用データの発行作業手順」を参照してください。
ブラウザで「このWebサイトのセキュリティには問題があります」とのエラーが発生する場合の対処について	エラーの原因として、次の可能性があるのを確認してください。 1 Webサーバ証明書の有効期限が切れている。 2 ウェブサーバに下位CA証明書が格納されていない。 3 クライアントのウェブブラウザにアプリケーション認証局（第三世代）の自己署名証明書が格納されていない。 詳細については、平成28年1月22日付け地情機第59号「地方公共団体組織認証基盤(LGPKI)アプリケーション認証局(第二世代)の廃局に伴うWebサーバ証明書の置き換えについて(通知)」(http://center.lgwan.jp/information/second2.html)を確認してください。

今年度も本特集をご覧いただきましてありがとうございました。次年度においても、LGWANの運営については、新たな脅威や攻撃に対する監視などセキュリティ強化を図りつつ、国及び地方が推進する

情報化施策に対応したネットワークの最適化に努めるとともに、効率的で安定的な運用を実施していきます。次年度も引き続きよろしくお願いいたします。

LGWAN-ASPサービス登録／接続状況（平成28年2月1日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の登録／接続状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録：519件	■ホスティング	接続：329件
■通信	登録：181件	■ファシリティ	登録：339件

登録／接続済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しています。

https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html